

川を遡る者たち

第三回

廣嶋玲子

みねおみつ 絵



〈前号のあらすじ〉

アリユーシャとコヌンは山の懐に向かって旅立った。途中、海の匂いのある民に出会い、逃げているうちに道に迷ってしまう。今度は、更に恐ろしい山犬の集団に遭遇する。が、逃げ惑っているうちに、不思議なことに山犬が一匹もいなくなっていた。気がつくや、二人は目指していた川の源流のある山の洞窟にたどり着いていた。

五

アリユーシャとコヌンは顔を引き締め、洞窟をのぞきこんだ。とたん、のけぞった。洞窟からは、これまで嗅いだこともないような、ものすごい悪臭が吐き出されていたのである。